

SOA NEWS

VOL-19 NO.5
1999年9月
(通巻号)163号

埼玉県サイクリング協会 〒336 浦和市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館内

TEL/FAX048-824-2711 SCANET048-824-2710

URL <http://www.geocities.co.jp/Coliseum/5185/index.html>

<http://members.cool.ne.jp/~sca/index.html>

E-mail scanet@geocities.co.jp

サイクルOL大会

第12回県民総合体育大会サイクリング大会(サイクルOL大会)を下記の通り開催します。

期 日 平成11年11月7日(日) 雨天決行
集 合 伊奈総合学園高等学校
会 場 蓮田周辺
日 程 受付9:00~9:30 開会式9:30 競技開始10:00
閉会式15:00



競技方法 グリッド・ポイント・マスターマップ方式 パンチェック
地 図 国土地理院1:50000 鴻巣
参加資格 読図力があり、自分の責任においてサイクリングのできるもの。

参加費 1500円(地図、保険代、飲物他)
クラス

MN	ジュニアの部	15歳以上の男子	約30km	8ポイント
M18B	一般の部	18歳以上の男子	約45km	10ポイント
M40B	シニアの部	40歳以上の男子	約35km	10ポイント
WN	女子の部	15歳以上の女子	約30km	8ポイント
トリム	グループの部	中学生以上	約20km	6ポイント

表彰 1~3位、1位のみメダル・トロフィー トロフィーは持回り

申込 指定申込用紙に必要事項を記入して郵便振替か郵便小為替(現金書留による受け付けは行いません)にて協会まで。*小為替には受取人名等は書かないこと
郵便振替 00170-8-56228

〒336-0012 浦和市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館 埼玉県サイクリング協会

締切 平成11年10月7日(火)

注意 工具・昼食・保険証・手袋他。整備された自転車(ライト・リフレクター・ベル)

装備)で参加して下さい。赤鉛筆又は赤ボールペンを忘れずに。
その他 県民以外の方は表彰対象となりませんが参加はできます。

< 留意事項 >

- (1) 個人走行以外は、表彰対象にはなりません。
- (2) 各クラスとも参加者が3名以下の場合は表彰対象となりません。
- (3) 地図はスタート前に渡します。
- (4) マスターマップを写す時間も、競技時間を含みます。
- (5) スタートしたものは、必ずチェックカードをゴール係に提出しなければなりません。
- (6) 喫煙は指定された場所以外は禁止します。またゴミは持ち帰りましょう。
- (7) 大会運営上、支障あると認めたものは、参加受付をおこないません。
- (8) 大会はみんなで運営しているという気持ちを持ってお互いに協力しましょう。

サイクルストの集い

4回目を迎えるサイクルストの集いを下記の通り開催します。
この機会に協会を訪れ、自転車の輪(和)を広げていきましょう。
駐車場も確保してあります。

10月23日(土) 13:00~17:00 青少年会館4階会議室他
バザー、サイクリング情報交歓、インターネット入門他
バザー品提供者は山崎辰雄(048-688-5280)あるいは
杉本公一(048-887-2480)までご連絡下さい。



< インフォメーション >

インターナショナルチャレンジサイクリング< ツール・ド・秩父 >

第11回インターナショナルチャレンジサイクリングが10月2日(土)~3日(日)開催されます。
今回のエントリーはリゾートA:1152人、B:335人、ファミリー:229人です。
コースは昨年とほぼ同じになります。アップダウンの多い秩父らしいコースです。

これほどまでに、みんなが楽しみにしている大会なのに、今後自転車イベントは縮小・中止の動きが中央から出ていると聞きました。サイクルストのみなさん、声高らかに自転車の地位確立を訴えましょう。

事務局だより

協会頒布グッズ類案内

秩父サイクリングコースマップ: 秩父地区10コースを選定、10コース完走すると、
素晴らしい記念品が送られます。1部1000円(郵送の場合1200円)

《編集後記》

今夏も暑い日が続きましたが、貴方は幾つの思い出を作りましたか。例年のように高校野球は素晴らしい感動を与えてくれたが、一方で悲しい出来事も沢山あった。キャンプ犠牲者の問題は、野外活動を行う私たちにとって数々の教訓を残してくれた。身勝手な行動がどれだけ世間の迷惑になるかということだ。今まで大丈夫だったからという安易な行動は十分慎みたいと思う。それにしても今度のツール・ド・秩父で、もし事故が起きたら警察は大会の中止を迫ってくることは必須だ。参加の皆さんは十分注意して走行して欲しいが、事故が起きたら中止というのではなく、どうやったら事故を起こさないように出来るかを考えることが先決問題だ。

